

第2次 いきいき西区ささえあいプラン 取り組み事業評価シート

〔評価の指標〕 A. 目標を達成（100%） B. ほぼ達成（80%以上） C. 一部達成（80%未満） D. 未着手

基本目標4 みんなで暮らしを支える情報の共有とネットワークづくり

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	R1実績（見込）	自己評価	評価理由	今後の課題等
1	広報紙「西区役所だより」発行	健康診断、各種検診のお知らせのほか、予防接種、育児相談、健康教室などの案内や公民館講座などを掲載します。点字版や音声版も毎号発行しています。	西区地域課 広報・広聴担当		毎月第1・3日曜発行（新聞折込、希望者には郵送） 約53,000部	A	毎号「健康と福祉」欄を掲載し、検診や子育て健康教室などの情報を発信しているほか、年に数回、健康・育児に関する特集や健康応援コラムを掲載していますのでA評価としました。（R1年度の特集のテーマと回数は、健康づくり1回、特定健診4回、子育て1回、健康コ	2面に空きスペースがあった際に、優先的に健康コラムを掲載することで、回数を増やします。
2	西区子育て情報誌「hug kumi（はぐくみ）」発行	NPプログラムの受講者を編集委員として、親子の居場所や子育て支援センターの情報、先輩の体験談など、子育て中に知りたい情報をまとめ、発行しています。	西区健康福祉課 こども支援係		「はぐくみだより」 Vol.1 3,000部発行	A	子育て支援講座受講生等当事者の意見を反映した子育て情報紙を発行し、より多くの人に手に取ってもらうよう区内商業施設にも設置しました。	SNS等による情報配信と併せ、更に幅広い年代層に手に取ってもらえるよう情報紙での発信を継続して行っています。
3	NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施（再掲）	子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりを支援します。	西区健康福祉課 こども支援係	参加者 50組	参加者 196組	A	開催した講座は定員に達するものが多く、育児の不安、孤立感の軽減や仲間づくりの支援を行うことができました。	育児の不安、孤立感の軽減、仲間づくりを支援するため、引き続き、各種子育て支援講座を開催します。
4	障がい者基幹相談支援センター事業	地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを西区役所内に設置（西区と西蒲区所管）し、相談支援体制を強化します。（市内に4か所設置）	西区健康福祉課 障がい福祉係		支援件数 3,760件	A	困難ケースや複合的な課題のあるケースなどについて、総合的・専門的な相談支援を実施しました。	引き続き、総合的・専門的な相談支援を実施します。
5	味な西の祭	西区の障がい者福祉施設などが中心となって開催する地域交流イベントです。施設で作った食品や作品の販売、展示やステージ発表など、様々な企画を行います。	西区健康福祉課 障がい福祉係		参加団体数 15団体	A	平成28年度までは味な西の祭を実施しましたが、平成29年度以降は西区ふれあいまつり等に参加し、ワークショップなどを行いました。また、障がい福祉施設やその活動等について理解を深めてもらうため、西区役所等の公共施設で障がい者アートの展示を行いました。	今後も障がいのある人とない人がふれあえる機会を設けていくよう努めます。

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	R1実績（見込）	自己評価	評価理由	今後の課題等
6	世代間交流促進、高齢者見守り啓発事業	児童に高齢者に関する認識を高めてもらうため、小・中学校において高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座を開催します。	西区健康福祉課 高齢介護係	西区の全小学校で開催（認知症サポーター養成講座）	小学校14校、中学校4校、計18校での開催の見込みです。	B	小学校の未開催は2校となり、開催校も今年度18校と前年度（12校）から増加しました。	未開催の小学校があるため引き続き、全小学校での開催に向け取り組みます。
7	機関紙「西区社協だより」発行	区社協事業の紹介、イベント等を定期的に案内します。	西区社会福祉協議会		年1回配付（自治会経由）	B	7月に40,500部を発行し、社協の活動についてPRしました。	限られた機会でも、より広く社協の活動を知っていただくための工夫として、手に取っていただきやすい紙面づくりを目指します。
8	ボランティア・市民活動センター情報紙「ぼらちゃん」発行	ボランティアに関する情報・講座開催案内などを掲載します。	西区社会福祉協議会	年3回 各2,000部発行	年2回 各2,500部発行	B	発行回数の目標を達成できず、内容についても事業の開催報告が多くなりました。しかし、配布箇所の見直しを行い部数を増やすことで、より多くの人に見ていただく機会をつくりました。	掲載記事について、社協の取り組みの特集や地域の話題など、より魅力ある紙面となるよう検討していきたいと思っています。
9	新潟市高齢者あんしん相談センター西	介護、暮らし、保険、住まい等、高齢者に関するあらゆる悩みごとに対する相談窓口を設置します。	西区社会福祉協議会		H29年度末で廃止（H30年度から新潟市あんしん相談センターに統合）			
10	コミュニティソーシャルワーク事業	制度の狭間にある世帯、複数の問題を抱える世帯等に対して、専門職との連携を進め、地域の協力を得ながら、課題解決に向け支援します。	西区社会福祉協議会		相談件数545件 ・来所154件 ・電話370件 ・訪問13件 ・文書等8件	A	多様化する福祉課題についての様々な相談が寄せられ、丁寧なアセスメントと多職種との連携で対応しました。	制度の狭間の課題や、多問題世帯への対応が求められています。多職種とのネットワーク構築を行いながら、コミュニティソーシャルワークを実践していきます。
11	ボランティア・市民活動相談	ボランティア、市民活動、福祉教育の相談などに幅広く応じます。	西区社会福祉協議会		相談件数 160件	A	相談窓口として、相談者のニーズをしっかりと聞き取りマッチングしました。区民の地域活動への参画を進めました。	多様な活動内容・活動先をさらに調査・研究し、開拓します。

NO	取り組み	取り組み内容	担当部署	目標値（H32）	R1実績（見込）	自己評価	評価理由	今後の課題等
12	ボランティア活動振興事業	福祉教育支援者交流会，受入施設研修会を開催します。	西区社会福祉協議会	開催数 2回 参加者 各50人	受入施設研修会（西区・西蒲区合同開催）のみ開催。 参加者27名	A	受入施設研修会については、プログラムを工夫したことで、課題解決の具体的なヒントが得られたと受講者からの満足度が高く、効果を感じました。福祉教育支援者交流会は開催しませんでした。にしCo.Mi.NETではひきこもりや不登校をテーマに、支援関係者が話し合う機会を設けました。	合同開催を見直し、西区独自の企画を考え、受入施設とボランティアと社協が円滑に繋がれるような内容を検討したいと思います。
13	ボランティア講座	ボランティア入門講座，傾聴ボランティア講座，介護講座などの各種講座を開催します。	西区社会福祉協議会	/	開催数 6回 参加者 71名	A	地域課題解決のための担い手育成講座『初心者向け庭木剪定講座』は、主に退職後の男性を対象とし、生活にも役に立ち、社会参加や地域活動のきっかけとなる講座になりました。 「楽しく学ぶ手話講座」は、新潟市手話言語条例施行や2020年パラリンピック開催に伴い、障がい者への理解や手話ボランティア育成のきっかけとなりました。	「地域住民に対してボランティア活動の啓発とボランティア育成のためのきっかけづくり」という趣旨を鑑み、講座内容やターゲットの絞り方、それに伴う日程設定や会場設定など、更に新たなアプローチを検討したいと思います。